

建設業と農林水産業の今後の発展に向けて

農林水産大臣 野上浩太郎



第15回建設トップランナーフォーラムが盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

本日御出席の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、社会基盤の整備という極めて重要な責務を担って頂いており、また、農林水産業の発展に御理解と御協力を頂いておりますことに改めて深く感謝申し上げます。特に、建設トップランナー倶楽部に参加されている皆様方には、「林建協働」や「建設と農業の多能工」をはじめ、建設業と農林水産業の連携を推進されるなど、時代を先取りした取組を積極的に進められていることに、心から敬意を表する次第です。

現在、我が国の農林水産業は、人口減少に伴うマーケットの縮小や、農林漁業者の減少・高齢化など、厳しい状況に直面しています。また、新型コロナウイルス感染症により、農林水産物の需要減少や価格低下等の大きな影響を受けているだけでなく、デジタル技術の普及など、社会構造の変化にも直面しております。

こうした中、昨年3月に閣議決定された、新たな食料・農業・農村基本計画等に基づき、農林水産省としては、農林水産物・食品の輸出額5兆円目標に向けた施策の強化、国土強靱化対策の推進、2050年カーボンニュートラルの実現、SDGsを契機とした農業の持続性確保に向けた取組などを着実に行う必要があります。このため、昨年12月に、農林漁業者の所得向上や農山漁村の活性化をさらに進める観点から「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂しました。また、本年5月には「みどりの食料システム戦略」を策定したところであり、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための取組を進めてまいります。

建設業と関連の深い、農業の競争力強化や国土強靱化につきましては、令和3年3月に閣議決定した土地改良長期計画に基づき、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の長寿命化、ため池等の豪雨・耐震化対策など、農業・農村の基盤整備を推進してまいります。また、森林資源の充実や近年の山地災害の激甚化・多発化等に対応し、強靱な幹線林道の整備や治山施設の整備等を適時適切に推進してまいります。

現在、農林水産公共事業については、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づき、適正な工期設定による長時間労働の是正などに加え、Webを活用した遠隔確認や検査など、建設業の働き方改革に資する取組を積極的に展開しております。

また、現在、ICT施工で得られる3次元データをスマート農業に活用するなど、建設業と農林水産業の連携が図られています。将来的な担い手不足という共通の課題をもつ建設業と農林水産業が共に手を組んで更に発展していくためには、建設トップランナー倶楽部が実践している業種の垣根を越えた人材のシェアなど、先進的な取組が、課題解決の重要な柱となると考えております。

農林水産省としては、今回の発表事例等を参考にさせて頂き、今後の農林水産施策に活かしていきたいと考えております。

最後になりますが、建設トップランナー倶楽部の益々の御発展と御出席の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。